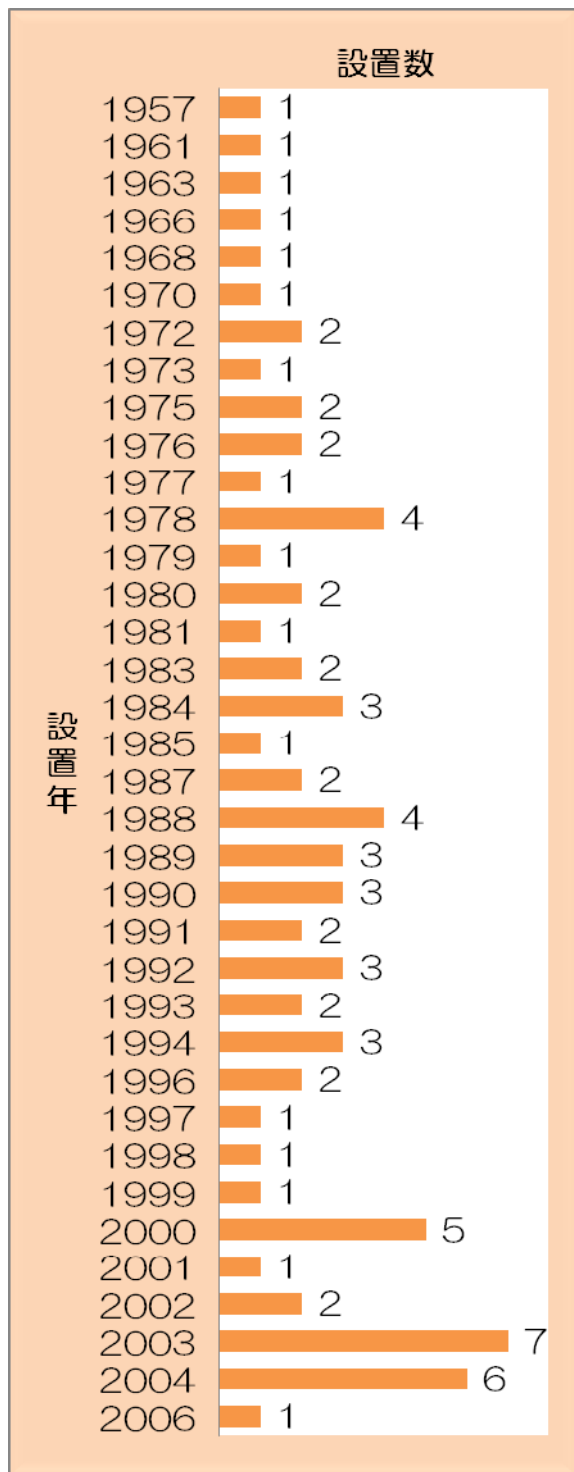


大学アーカイブズの設置状況

下のグラフは、2006 年度現在の日本における大学アーカイブズの設置状況を示したもので、全国大学史資料協議会編『日本の大学アーカイブズ』所収のデータなどに基づいて作成しました。このグラフでは、既存組織の改組等によって設置されたアーカイブズは前身組織の設置年で集計しました。



たもので、全国大学史資料協議会編『日本の大学アーカイブズ』所収のデータなどに基づいて作成しました。このグラフでは、既存組織の改組等によって設置されたアーカイブズは前身組織の設置年で集計しました。

最も早い時期に設置されたのは甲南大学の甲南学園史資料室で、1957年の設置となっています。国立大学系では、1963年に設置された東北大学記念資料室が最も早い事例となります。この東北大学記念資料室は、設置当初から英訳名を「Tohoku University Archives」としており、

日本で初めて「大学アーカイブズ」を名乗った施設であるとされています。

一方、東海地方（東海四県）における大学アーカイブズの設置は1990年代以降のこととなっています。

グラフ中では愛知大学（1992年）、南山大学（1993年）、名古屋大学（1996年）の事例（いずれも前身組織）がカウントされています。これらを現在の組織名でいうと、それぞれ愛知大学東亜同文書院大学記念センター（1993年～）、南山大学史料室（2005年～）、名古屋大学大学文書資料室（2004年～）です。愛知医科大学大学文書室は、これらの組織に続く設置となっています。

